

科目名 Subject	人体の美と科学 I Beauty & Science of Human Body I			教員名	大西典子	
開講年次	2	開講時期	夏季	単位	1単位	
必修／選択	選択	授業形態	講義	時間	30時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
	◎		○			
科目の概要	本科目では、美容を習得するために必要な、対象となる人の皮膚の構造、皮膚の役割、皮膚の栄養、病気、感染症。また毛髪、爪のしくみと役割を学ぶ。学習をすすめることで習得した知識と技術を活かす場 面を想定できることを目的にしている。またこれによって皮膚や爪・毛髪に係る美容上の課題に対して適 切な解決策が選択できることを目的にしている。					
授業方法	対面授業（感染状況によりオンライン授業へ変更となる場合があります）					
授業の目標	・ 皮膚を構成する部位とその付属機関のしくみと役割が述べられる。。 ・ 毛髪、爪のしくみと役割が述べられる。 ・ 皮膚と食生活、生活習慣の関連が述べられる。 ・ 皮膚と付属器官、毛髪と爪について図説できる。 ・ 皮膚と付属器官に関する美容上の課題に対して適切な解決策が選択できる。					
時間外学習 （予習・復習）	（予習）毎回の授業の皮膚と美容に係る情報を新聞・ニュース・インターネットの記事などから情報収集 し、自分なりのイメージを持っておいください。情報の調べ方参考文献なども授業の最後に指示をし ます。 （復習）毎回の授業の最後に提示する課題に対して、授業の内容をふまえて解答してください。					
教科書・教材	教科書		美容師養成コース：保健、日本理美容教育センター 2023年その他のコース：新エステテック学 理論編日本エステテック協会 I 日本エステテック協会 2023年			
	教材					
	使用設備・備品					
	参考文献		皮膚人間のすべてを語る, モンティ・ライマン塩崎香織訳, みすず書房2022			
評価方法	小テスト・課題（50％）、定期試験（50％）					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	定期試験の要点について、掲示にて解説を行います。					
履修上の注意	ノートを整理し、疑問や気づきを明確にし、毎回の授業に活用できるようにしましょう。					
本科目履修と 関連する資格	資格名	なし				

授業計画			
	授業内容	到達目標	時間外学習・備考
第 1 回	オリエンテーション 皮膚の構造 1) 皮膚の表面と表皮のしくみを学ぶ	皮膚の表面と表皮のしくみが述べられる。	表皮の役割について予習 (30分) 課題について復習 (30分)
第 2 回	皮膚の構造 2) 真皮、皮下組織のしくみと役割を学ぶ。	真皮、皮下組織のしくみと役割が述べられる。	真皮・皮下組織について予習 (30分) 課題について復習 (30分)
第 3 回	皮膚の付属機関の構造 1) 脂腺と汗腺のしくみと役割を学ぶ。	脂腺と汗腺のしくみと役割が述べられる。	脂腺と汗腺について予習 (30分) 課題について復習 (30分)
第 4 回	皮膚の付属機関の構造 2) 毛と爪のしくみと役割を学ぶ。	毛と爪についてのしくみと役割が述べられる。	毛と爪について予習 (30分) 課題について復習 (30分)
第 5 回	皮膚の血管と神経 1) 皮膚に栄養を与える血管について学ぶ。	皮膚と血管の関連が述べられる。	皮膚の血管について予習 (30分) 課題について復習 (30分)
第 6 回	皮膚の血管と神経 2) 皮膚の感覚機能に係る神経について学ぶ。	皮膚と神経の種類が述べられる。	皮膚の神経について予習 (30分) 課題について復習 (30分)
第 7 回	皮膚と付属器官の生理 1) 皮膚の作用 (保護・体温調節・知覚・反射) について学ぶ。	皮膚の体外保護作用・体温調節作用・知覚作用と皮膚反射について述べられる。	皮膚の生理機能 1) について予習 (30分) 課題について復習 (30分)
第 8 回	皮膚と付属器官の生理 2) 皮膚の作用 (分泌・排泄・再生) と毛と爪の役割について学ぶ。	皮膚の分泌・排泄作用・吸収作用・貯蔵作用・再生作用、爪と毛の作用について述べられる。	皮膚の生理機能 2) について予習 (30分) 課題について復習 (30分)
第 9 回	皮膚と付属器官の保健 1) 精神・栄養・体内病変が皮膚に与える影響について学ぶ。	精神・栄養・体内病変が皮膚に与える影響について述べられる。	皮膚の保健 1) について予習 (30分) 課題について復習 (30分)
第 10 回	皮膚と付属器官の保健 2) 水分・脂・ホルモンが皮膚に与える影響について学ぶ。	水分と脂の状態およびホルモンが皮膚に与える影響を述べられる。	皮膚の保健 2) について予習 (30分) 課題について復習 (30分)
第 11 回	皮膚と付属器官の保健 3) 理論に基づいた皮膚・爪・毛のお手入れ方法を学ぶ。	皮膚・爪・毛それぞれのお手入れ方法とその理由が述べられる。	皮膚の保健 3) について予習 (30分) 課題について復習 (30分)
第 12 回	皮膚と付属器官の保健 4) 非感染症の皮膚の疾患について学ぶ。	皮膚の疾患のうち感染症以外の疾患について述べられる。	皮膚の保健 4) について予習 (30分) 課題について復習 (30分)
第 13 回	皮膚と付属器官の保健 5) 感染による皮膚疾患について学ぶ。	皮膚の疾患のうち、感染性疾患について述べられる。	皮膚の保健 5) について予習 (30分) 課題について復習 (30分)
第 14 回	皮膚と食生活、生活習慣の関連について学ぶ。	皮膚と食生活、生活習慣の関連が述べられる。	皮膚と生活習慣について予習 (30分) 課題と資料で復習 (30分)
第 15 回	皮膚と付属器官に関する美容上の課題に対するアセスメントと解決策を学ぶ。	皮膚と付属器官に関する美容上の課題に対して適切な解決策が選択できる。	これまでの課題を整理しておく (30分) 課題について復習 (30分)